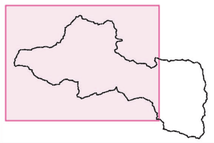
測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R3JHa156

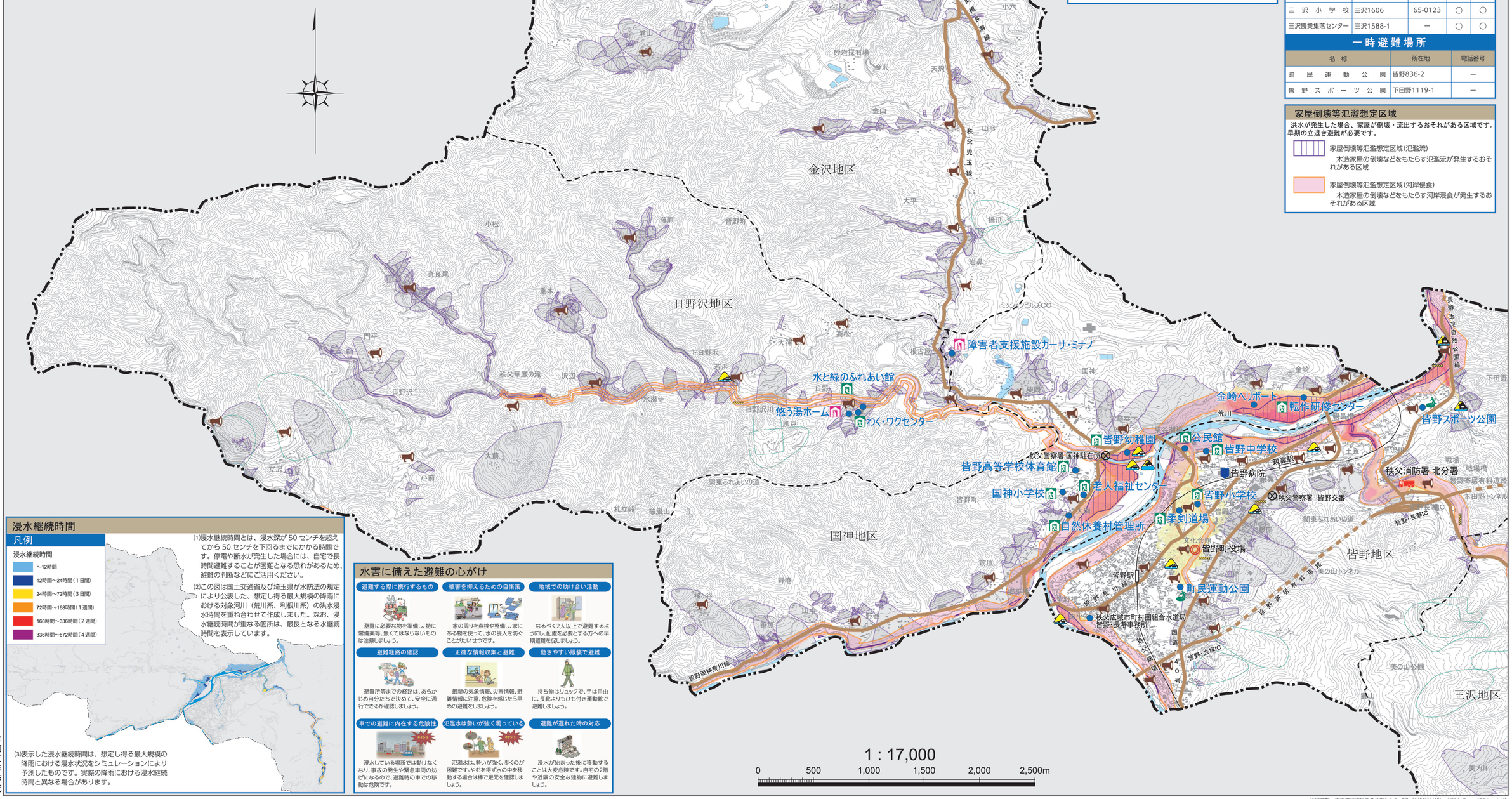
皆野町洪水ハザードマップ

この地図は、下水道や河川の排水能力を大きく超える激しい雨が降った場合に、浸水が発生する地域を示したものです。地図には、浸水が予想される地域とその深さ、避難場所などを示しています。

この地図は想定し得る最大規模の雨が降った場合に、浸水が発生する地域とその深さがどの程度になるかシミュレーションした結果を表しています。しかし、雨の降り方によっては、この地図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合があるので注意してください。

案内図　国神・金沢・日野沢





凡例

浸水被害実績

- 床上浸水箇所
- 床下浸水箇所
- 冠水箇所

浸水した場合に想定される浸水深

- 20m以上
- 10m~20m
- 5m~10m
- 3~5m
- 0.5~3m
- 0~0.5m

- 指定避難所
- 一時避難場所
- 役場
- 警察
- 消防
- 緊急医療機関
- 福祉避難所
- 防災行政無線
- 町界
- 地区界
- 鉄道
- 主要道路
- 注意箇所
- 建物等位置

○ 土砂災害危険箇所（急傾斜地）　◎ 土砂災害（特別）警戒区域

詳細な区域の情報は土砂災害ハザードマップをご参照ください。

指定避難場所・避難所

名称	所在地	電話番号	洪水災害	土砂災害
公民館	皆野2228-1	62-0454	○	×
柔剣道場	皆野2125	－	○	○
皆野小学校	皆野1346	62-0053	○	○
皆野中学校	皆野2244-2	62-0432	○	×
老人福祉センター	大渕103-1	62-4625	○	○
国神小学校	大渕70-1	62-0579	○	○
自然休養村管理所	大渕280	－	○	○
皆野高等学校体育館	大渕19-1	62-2076	○	×
転作研修センター	金崎111-1	－	○	○
皆野幼稚園	国神639	62-1333	○	○
金沢生活改善センター	金沢259-1	－	○	×
わく・ワクセンター	下日野沢3990	－	○	×
水と緑のふれあい館	下日野沢3993-3	62-5227	○	×
三沢小学校	三沢1606	65-0123	○	○
三沢農業集落センター	三沢1588-1	－	○	○

一時避難場所

名称	所在地	電話番号
町民運動公園	皆野836-2	－
皆野スポーツ公園	下田野1119-1	－

家屋倒壊等氾濫想定区域

洪水が発生した場合、家屋が倒壊・流出するおそれがある区域です。早期の立退き避難が必要です。

- 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）
  木造家屋の倒壊などをもたらす氾濫流が発生するおそれがある区域
- 家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）
  木造家屋の倒壊などをもたらす河岸浸食が発生するおそれがある区域

浸水継続時間

凡例

浸水継続時間

- ～12時間
- 12時間～24時間（1日間）
- 24時間～72時間（3日間）
- 72時間～168時間（1週間）
- 168時間～336時間（2週間）
- 336時間～672時間（4週間）

(1)浸水継続時間とは、浸水深が50センチを超えてから50センチを下回るまでにかかる時間です。停電や断水が発生した場合には、自宅で長時間避難することが困難となる恐れがあるため、避難の判断などにご活用ください。

(2)この図は国土交通省及び埼玉県が水防法の規定により公表した、想定し得る最大規模の降雨における対象河川（荒川系、利根川系）の洪水浸水時間を重ね合わせて作成しました。なお、浸水継続時間が重なる箇所は、最長となる水継続時間を表示しています。

(3)表示した浸水継続時間は、想定し得る最大規模の降雨における浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。実際の降雨における浸水継続時間と異なる場合があります。

水害に備えた避難の心がけ

避難する際に携行するもの

避難に必要な物を準備し、特に常備薬等、無くてはならないものは注意しましょう。

被害を抑えるための自衛策

家の周りを点検や整備し、家にある物を使って、水の侵入を防ぐことがたいせつです。

地域での助け合い活動

なるべく2人以上で避難するようにし、配慮を必要とする方への早期避難を促しましょう。

避難経路の確認

避難所等までの経路は、あらかじめ自分たちで決めて、安全に通行できるか確認しましょう。

正確な情報収集と避難

最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意、危険を感じたら早めの避難をしましょう。

動きやすい服装で避難

持ち物はリュックで、手は自由に、長靴よりもひも付き運動靴で避難しましょう。

車での避難に内在する危険性

浸水している場所では動けなくなり、事故の発生や緊急車両の妨げになるので、避難時の車での移動は危険です。

氾濫水は勢いが強く濁っている

氾濫水は、勢いが強く、歩くのが困難です。やむを得ず水の中を移動する場合は棒で足元を確認しましょう。

避難が遅れた時の対応

浸水が始まった後に移動することは大変危険です。自宅の2階や近隣の安全な建物に避難しましょう。

令和三年作成

地図調製　東京都江東区門前仲町2-2-8　TEL 03(5620)4371　(株)シティ・プランニング